

物質理工学院 学生交流プログラム25冬・26春派遣応募要項

物質理工学院では、学院単独で交流協定を締結している大学・研究機関へ、物質理工学院の優秀な学生を派遣する、学院独自の学生交流プログラムを実施しています。このプログラムでは、学生はホスト大学・機関の研究室に派遣され、研究活動を行います。

募集は年2回行われ、今回は 2025年12月～2026年5月 に渡航開始する学生を募集します。(派遣先機関での受入れが間に合う場合は 2025年10月、11月 の渡航開始も可能)

応募書類に基づいて英語面接を行い、派遣学生を決定いたします。

留学費用は原則自己負担ですが、別途、「工学院、物質理工学院及び環境・社会理工学院合同学生国際交流プログラム冬派遣」(以下、「エ・物・環学院合同学生交流プログラム」)に応募、採択された場合は、留学費用の一部支援を受けられます。また、不採択の場合でも、物質理工学院から一部支援が行われる場合があります。

募集概要

派遣対象 学生	● 物質理工学院に所属する修士・博士課程正規学生 注) 社会人学生は対象外。 ● 一部の大学・機関では学士課程学生(4年生以上)の受入を認めているところもあるので、相談してください。相談先: mct.intl@adm.isct.ac.jp
渡航開始及び留学期間	2025年12月～2026年5月の渡航開始 (派遣先機関で受入れが間に合う場合、2025年10月、11月の渡航開始も可) 【博士課程、修士課程】2～3か月程度(時期・期間は受入研究室の定めるところとする) ※60日未満は応募不可 ※正当な理由によっては上記以外での渡航開始、渡航期間も認められるため、申請用紙にその旨記載してください。 【学士課程】個別にご相談下さい。相談先: mct.intl@adm.isct.ac.jp
派遣先	・ ジェノヴァ大学ポリテックニクススクール ・ イタリア学術会議 - 物質化学・エネルギー技術研究所 ・ イタリア学術会議 - 建設技術研究所 ・ ドイツ航空宇宙センター ・ マックスプランク高分子研究所界面物理部門 ・ フランス国立航空宇宙研究所 および パリ国立高等化学学校(シミー・パリテック) ・ ヨンショーピン大学 工学部 ・ ノルウェー工科大学 自然科学部 ・ ワルシャワ大学 化学部 ・ 武漢理工大学 材料複合新技術国家重点実験室 ・ 大連理工大学 材料科学工程学院 及び 化工学院 詳細はp3の表、各機関のHPをご参照ください。また、必ず応募前に各コーディネータ教員 或いは物質理工学院国際担当 (mct.intl@adm.isct.ac.jp) にご相談下さい。
派遣人数	各大学・研究機関とも年間を通じて1名程度

留学費用	原則自己負担 ※別途、「エ・物・環学院合同学生国際交流プログラム」(C3-a カテゴリー)での派遣に応募、採択された場合は、留学費用の一部支援を受けられます。また、不採択の場合でも、物質理工学院から一部支援が行われる場合があります。 「エ・物・環学院合同学生国際交流プログラム」の奨学金の受給希望者は、下記のサイトの新着情報から4月22日以降、募集要項を必ずご確認ください。「エ・物・環学院合同学生国際交流プログラム」の応募締め切りは <u>5月30日</u>を予定しています。 https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs
応募締切	2025年5月13日(火) 正午まで 応募書類提出先: 物質理工学院国際担当 (mct.intl@adm.isct.ac.jp)
応募書類	1. 物質理工学院学生交流プログラム申請用紙 (派遣期間、時期の希望を記入) 2. CV (様式自由, 英語) 3. Letter of Recommendation (様式自由, 英語)
選考	日時: 2025年5月15日(木) ~ 5月21日(水)のいずれかの日にて調整予定。 (書類審査の後に、対象者に別途通知します) 形式: 英語面接 (約 20 分) *オンラインでの面接になる可能性があります
注意事項	1. 「エ・物・環学院合同学生国際交流プログラム」に採択された場合は、「国際経験実践アドバンスト」、あるいは各系・コースに設定された同等の科目を履修登録が必須となります。なお、いずれの場合も派遣期間によって単位数が異なりますので注意してください。 2. 採択された学生は、下記の東京科学大学での海外渡航手続き案内を確認の上、出発の約3か月前より、必要な手続きを開始してください。 留学等海外渡航手続き 3. 各自の責任の下、然るべき入国ビザを取得してください。ビザ申請に必要な書類のいくつかは留学先が発行してくれますが、自分でも調べてください。 4. 宿舍や航空券は各自で手配してください。(特に宿舍は、留学先の担当者の協力・紹介を得られないか相談してください。) 5. 渡航にあたっては本学が指定する海外旅行保険及び危機管理サービスへ加入してください。詳細は、派遣決定後にお知らせします。 6. 帰国後1か月以内に報告書を提出してください(「エ・物・環学院合同学生国際交流プログラム」への提出書類との併用可)。場合によっては、物質理工学院国際委員会で留学の報告をお願いします。また、報告書の全文、または一部は Web で広く公開致します。 その他、質問等がありましたら、各コーディネータ教員、 物質理工学院国際担当 (mct.intl@adm.isct.ac.jp) までお尋ねください。

25年冬・26春に受入可能な物質理工学院学生交流プログラムの対象大学・研究機関(2025年3月現在)

	協定大学・機関	学院 コーディネータ教員
1	<u>ジェノヴァ大学</u> (イタリア・ジェノヴァ) Polytechnic School, University of Genoa	小林郁夫 准教授 equo@mtl.titech.ac.jp
2	<u>イタリア学術会議 - 物質化学・エネルギー技術研究所</u> (イタリア・ジェノヴァ) Institute of Condensed Matter, Chemistry and Technologies for Energy (ICMATE) Consiglio Nazionale delle Ricerche(CNR)	小林郁夫 准教授 equo@mtl.titech.ac.jp
3	<u>イタリア学術会議 - 建設技術研究所</u> (イタリア・ミラノ) Istituto per le Tecnologie della Costruzione (ITC) Consiglio Nazionale delle Ricerche(CNR)	森川淳子 教授 morikawa.j.aa@m.titech.ac.jp
4	<u>ドイツ航空宇宙センター</u> (ドイツ・ケルン) Institute of Materials Physics in Space Deutsches Zentrum für Luft- und Raumfahrt (DLR)	小林郁夫 准教授 equo@mtl.titech.ac.jp
5	<u>マックスプランク高分子研究所界面物理部門</u> (ドイツ・マイツ) Max Planck Institute for Polymer Research (Department of Physics at Interfaces)	早水裕平 准教授 hayamizu.y.aa@m.titech.ac.jp
6	<u>・フランス国立航空宇宙研究所</u> (フランス・パリ) The French Aerospace Lab Office National d'Études et de Recherches Aérospatiales (ONERA) <u>・パリ国立高等化学学校</u> (シミー・パリテック) CHIMIE PARISTECH - PSL, PARIS' TECHNICAL INSTITUTE OF CHEMISTRY	小林 寛 准教授 kobayashi.s.be@m.titech.ac.jp
7	<u>ヨンショーピン大学</u> (スウェーデン) School of Engineering, Jönköping University	林幸 教授 hayashi@mtl.titech.ac.jp
8	<u>ノルウェー工科・自然科学大学</u> (ノルウエー) Norwegian University of Science and Technology	小林郁夫 准教授 equo@mtl.titech.ac.jp
9	<u>ワルシャワ大学</u> (ポーランド) Faculty of Chemistry, University of Warsaw	森川淳子 教授 morikawa.j.aa@m.titech.ac.jp
10	<u>武漢理工大学材料複合新技術国家重点実験室</u> (中国・武漢) Wuhan University of Technology (State Key Laboratory of Advanced Technology for Materials Synthesis and Processing)	史 蹟 教授 shi.j.aa@m.titech.ac.jp
11	<u>大連理工大学材料科学工程学院、化工学院</u> (中国・大連) The School of Materials Science and Engineering and the School of Chemical Engineering, Dalian University of Technology	史 蹟 教授 shi.j.aa@m.titech.ac.jp

※ 1, 2 は共同での受け入れとなる可能性があります。